

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【福岡県】

福岡県立福岡高等視覚特別支援学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校 本科 保健理療科1年 1名 専攻科 保健理療科1・2年 8名 専攻科 理療科1・2年 11名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) 平成29年12月8日(金) 9:50~11:40 ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックや障がい者スポーツへの関心を高める。 ・意欲的に運動を実践し、自ら体力向上、健康の保持増進を図るとともにスポーツの楽しさを体験することをとおして生涯スポーツにつなげる。 ・他の生徒と協力して安全に活動しながら交流を深め、コミュニケーション能力を高める。

5 取組内容

パラリンピックの正式競技であるボッチャをはじめ視覚に障がいのある者でも実施可能な競技を4種目設定し、参加生徒が2種目を選択し体験した。各種目においては、事前の授業でルールの説明や基本技能の指導をしていたので、スムーズな実践ができた。すべての競技において、的には音源を設置し、距離や方向を指示した。

① ストラックアウト

大小2種類の的を準備し能力に応じて投げ分けた。的までの距離も能力に応じて設定し、10投中何枚抜いたかのゲームを実施した。



② フライングディスク

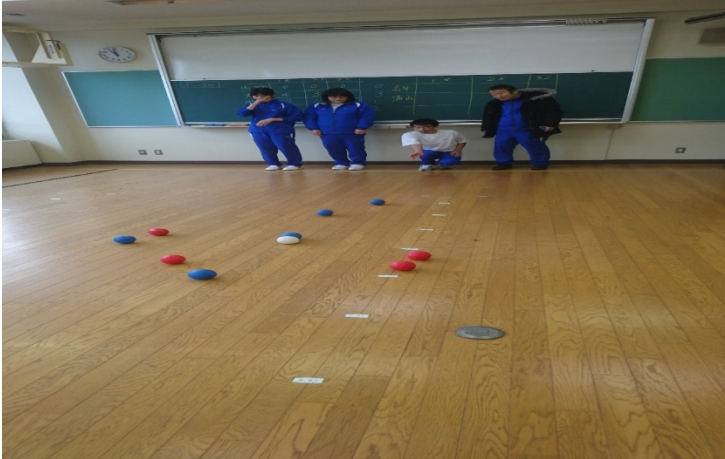
的を2台設置し個人の能力により距離を変動して実施。最後に10投中何枚入ったかのゲームを実施した。



③ ゴルフ

前方の的をめがけてスイングを行い、正確に的に当てる練習を行った。



	<p>④ ボッチャ ルールや戦術を説明しながらゲームを実施した。慣れるにしたがって、色々な戦術を理解し面白さも倍増した。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各競技とも生徒の関心度は高く熱心に取り組む姿が印象的であった。スポーツの楽しさを体験したことで、未知へのスポーツへ関心が持てるようになった。 オリンピックやパラリンピックをはじめとする各種スポーツ大会へ興味を示すようになった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 種目の選択肢においては、視覚障がい者にもプレー可能な種目を提示した。 昨年度は他種目のスポーツ体験を主眼に置いたが、今回は特に興味がある2種目に絞り1種目あたりの実施時間を長くした。(1種目あたり40分) 5～6名のチームで種目をローテーションできるように事前に事前に調査をしてチーム編成をした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度からの成果で、昼休みや放課後に体育館で自主的に運動をする生徒が増えてきている。今後も引き続き体育委員会等において益々活性化させ、生徒自身の生涯スポーツに結び付けていくことが必要である。
<p>9来年度以降の 実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降においても、本年度同様にこの事業を活用していく予定である。